



平成20年度文化庁芸術団体人材育成支援事業

「演出空間仮設電気設備指針」技術研修講座 開催案内

主催：日本舞台音響家協会 共催：社団法人 劇場演出空間技術協会

日程：平成20年10月22日（水） 12：00 開場・12：30 開講

会場：東京厚生年金会館 3階「葵」

内容：①「指針の概要について」

講師：中川 堅司（ヤマハサウンドテック（株））

②「分岐回路について」

講師：藤井 修三（MSI JAPAN）

③ パネルディスカッション「安全確保の取組み」

出席者：吉田 英明（特定ラジオマイク利用者連盟）

「演出空間仮設電気設備指針」関係者

司会進行：加藤 明（日本舞台音響家協会 事務局長）

参加費：一般 2,000円／会員 1,000円

※〔資料〕『演出空間仮設電気設備指針』

配布料 5,000円（受講者特別価格）

〔本講座は、上記資料をテキストにしますので必ずお手元に置いてください。〕

※参加費及び資料代は、当日会場にてお支払い下さい。

受講資格：演出空間の現場で稼働する音響、設計、設備、管理、委託・製造（販売等を含む）・放送録音従事者及び音響学校関係者。

申込方法：下記の受講申込書を日本舞台音響家協会 事務局までFAXにてお送り下さい。

FAX番号 03-3208-7324

※協会ホームページよりダウンロード出来ます。

<http://www.ssaj.gr.jp/>

申込締切：平成20年10月17日（金）必着

問合せ先：日本舞台音響家協会 事務局

TEL.03-3205-6943 FAX.03-3208-7324

～「演出空間仮設電気設備指針」とは？～

演劇やコンサート等の公演は年々その規模が拡大し、作品の演出が複雑化しています。施設に常設された設備のみではその演出効果が得難い場合、外部から持ち込まれる機器、機材（一般に持込機器という）を使用することが多く、場合によっては常設の設備を使用せず、全て持込機器によって行われる公演もあります。更に、ツアーコンサート等では屋内ばかりでなく、公園や広場など屋外に仮設舞台を設営し、持込機器によって上演されることが多くなっています。

もとより演劇などの催し物を行う劇場・ホール等の演出空間には、照明設備・音響設備・機構設備といった演出効果に欠かせない電気設備があります。これらを誤って取り扱えば、出演者や設備を取り扱うスタッフ、更には観客にまで危害を加える恐れがあります。

そこで、既に制定されている「劇場等演出空間電気設備指針」の安全要求事項も踏まえ、仮設設備に使用する持込機器、機材及び施工の現状を調査して、『演出空間仮設電気設備に関する指針』が作成されました。

本指針は、業界みずから安全を確保するための民間指針です。音響業界としても是非取り組んでいくことが大切です。

日本舞台音響家協会 事務局 行

《 FAX. 03 (3208) 7324 》

「演出空間仮設電気設備指針」技術研修講座 受講申込書

ご氏名	連絡先電話
ご住所 〒	
勤務先	所属団体 () (社)劇場演出空間技術協会 / () 日本舞台音響家協会 () その他 団体名: _____
『演出空間仮設電気設備指針』（価格 5,000円）： () 購入する () 購入しない	

※10月15日までにお送り下さい